

2026年最新：AI特許ツール比較・選定ガイド

自社の業務ニーズ（グローバル調査、国内実務、発明支援など）に最適なAI特許ツールの選び方を可視化。
唯一の勝者は存在せず、組み合わせ戦略が推奨されます。

目的別・最適なツールの選び方



**グローバル調査・R&D連携なら
「Patsnap Eureka」**
2億件超の世界データと、特徴単位の
相拠マッピングでFTOや技術調査を
強力に支援。



**日本国内の実務効率化なら
「サマリア」または
「Patentfield AIR」**
日本独自のFI1/Fターム対応や、
最大1万件の大量査読・マップ分析に
強みを持つ。



**発明創出・全社標準化なら
「MyTokkyo.Ai」または
「Genzo AI」**
発明者との対話型インターフェースや、
ユーザー数無制限の社内運用に適した
設計が特徴。



主要製品の相対評価と推奨構成



単一製品への依存ではなく
「適材適所」の組み合わせが合理的
「世界調査はEureka、大量査読はPatentfield、
JPO実務はサマリア」といった併用が有効。

AIエージェント性とセキュリティ
の確認が不可欠
目標理解・計画・反復を行う「エージェント性」と、
国内保存・学習不使用などの安全性を評価。

主要ツールの評価（5点満点）

	エージェント性	日本実務適合	調査データ・法域
Patsnap Eureka	エージェント性： 5	日本実務適合： 3	調査データ・法域： 5
サマリア	エージェント性： 5	日本実務適合： 5	調査データ・法域： 4
MyTokkyo.Ai	エージェント性： 5	日本実務適合： 5	調査データ・法域： 3
Genzo AI	エージェント性： 5	日本実務適合： 3	調査データ・法域： 4